佛教大学見学感想

今週の火曜日、私は聶さんと京都の佛教大学に見学して行きました。

佛教大学にところ着きました。たくさんの大学生たちはバッグを背負いて、出入しました、私は数ヶ月前に大学生活に戻ったようです。すぐ後に、音窪さんが私たちを迎えに来て、我々はお互いを暖かく迎えて、また簡単な自己紹介をした研究を訪問するホールに案内してくれました。

ちょうどホールに入った、音窪さんはこの建物が最新ビルドしますと説明しました、そのため、施設や環境は最新の状態です。まず、私たちが見たのは可愛い仏像、音窪さんはこれが学生に設計しましたと紹介した、大学生の創造力に感心します。私たちは前進し続ける、我々はいるいるな酒を見ました、この酒は有名の佛米夢乃酒です。佛教大学酒造りについて、大学生は春学期にお米とお酒の文化を学びます、美山での田植え、草取り等の農作業を体験します、秋学期は、お酒の醸造体験、販売などを学びます、講義と体験を通して、働くことの意義や役割を理解し、社会人としての能力を身につけ、課題解決できる資質を身につけるキャりア形成を目標としています。

2 階のこれは先生の事務室、コンピューターの公共エリアがあります、学生はどこの地域の残りの部分と同様に無料のインターネット学習、検索については、無料することができます、快適な机と椅子がある、ソファーより多くの自由は同じ畳、学生リラックスできる本を読むの上に横になっている音楽を聴く 中国と比較して良好な学習環境を学生に提供するには、より多くの自由を日本します。

3階以上はクラスに学生の教室、クラスにいくつかの教室がある、先生が言ったひたむきな情熱、慎重に耳を傾ける学生、私は岩石の多くの表示外の教室を参照して。 学校の周りのロックだと音窪さん言いです、などなど深成岩、火山岩があります。 とてもいい気分です。 合理的に勉強する環境のリソースを使用することができます。 それから、教室は学生カード機器を紹介後、教師のためのコールを言った空の大きな教室に私達を取った。 テーブルが開かれ、クラスはノート ブック コンピューター、技術は本当に高度な。

ホールを出たし、開放する、うわー、それは通りの側にウィンドウを発見しました。 UNIPA 、佛教大学に導入されている教育体制、このニュースは例のシステムなどを使用する方法について説明します。 私は今勉強して思考を助けることはできません、UNIPA製品、堅牢性、実現可能性、私は一生懸命勉強するより決定します。

我々 は燦びやかなを参照してくださいすることを学ぶ仏ホールに行って、いくつかの彫像、仏像の下を崇拝すること神の場合は、です。 途中で、3 つのテーブルの合計は犠牲、右側が先生の席、毎朝して知識を講義で先生が座っています。 左手マイク、教えるようサウンド、仏は本当に大きなオープンを参照してください全体のキャンパスで満ちることができる使用します。

一緒に別のパビリオンに行った、大きな環本屋がある、学生はここを購入する来ることができます。 文房具、書籍のすべての種類を購入する、ので、雑誌、専門書、コミック、試験書籍等がありますので非常に便利な大学で。 反対は、ライブラリが、残念ながら、入力だけでなく学生証を磨く学校のセキュリティを強化します。 ゲートの外は大きなバス、駐車場、学校広場です。 これらのバスは、それはちょうどキャンパスと他のキャンパス各キャンパスから転送です。 後 は、温かみのあるその他の設備、学校の文化に私たちを紹介、2 つの国の違いを感じた、成果に焦点を当てた中国、これは何を感じる、実践と創造性。

今日の仏教大学旅行、良い環境、良い創造性の学生、そのような良い大学など、新しいことを学んだの多く見かけました、システムは確かに完璧な複雑です、 UNIPA この大学で選択することができこの大学にも適用できます。 UNIPA この製品は本当に素晴らしいです。